

河川協力団体

幾春別川をよくする市民の会

平成3年10月、約110年ぶりに岩見沢市を流れる幾春別川にサケが遡上し、このことをきっかけに結成された「サケを蘇らせる会」が前身となって発足しました。

幾春別川の清流に魚が泳ぐ、親しみと潤いのある川にするとともに、「サケの遡る川づくり」・「ふるさと岩見沢の川づくり」を目指して、快適で健全な生活環境をつくることを目的としています。

【平成5年（1993）設立】

河川協力団体としての活動内容

（平成26年3月31日河川協力団体指定）

石狩川水系幾春別川

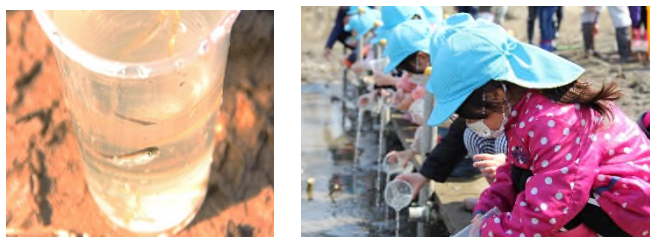
河川清掃（除草、樹木剪定等を含む）、
自然体験学習



主な活動状況

サケの稚魚放流壮行会

前年の12月より、保育園・小学校・企業・個人宅で飼育しているサケの稚魚を、約450名の参加者で幾春別川へ放流しました。
（令和4年4月19日）



ふれあいメンテナンス

草刈りや過年度に植栽したハマナスの剪定を初夏と夏の2回行い、緑の回廊事業として植樹した樹木の剪定を秋に行い、合わせて約260人が参加しました。
（令和4年6月15日、8月22日、10月3日）



ハマナスの植樹会

幾春別川沿いに防護柵の役目となるようハマナスの苗木66本を、流域の町内会、会員など合わせて約50人が参加し植樹を行いました。
（令和4年11月12日）

